



感染者の動向

累計感染者数 **398,024人**

累計死者数	累計回復者数	新規感染の傾向
8,025人	341,423人	増加傾向

11月30日現在 ※出所：国家保健サービス規制調整省



行動・活動制限

活動制限

なし

実施主体

連邦政府、州政府

具体的制限

- 連邦政府は8月6日、閉鎖・規制産業の再開許可を決定。が、感染拡大を受け11月6日、室内結婚式禁止、客数は千人未満で着席式とした。
- シンド州は11月23日と27日に、オフィス人員は50%まで、室内施設（ジム、劇場等）閉鎖、必須業種以外は金曜か日曜日を休業、飲食店は屋外席のみ20時まで営業可、と発令。

日本人学校（イスラマバード、カラチ閉鎖中）

- カラチ日本人学校は、校長が10月帰還。状況を見つつ、1月再開を検討。

カラチ事務所長
山口 和紀

政府は規制強化、病院ベッド占有率が上昇

10月から第2波が到来し、新規感染者数は11月初めに1日約1,000人だったのが、今は3,000人に届いています。政府は、室内活動（飲食店、結婚式場等）を規制し、学校も閉鎖となりました。病院のベッド占有率が先週より10%程度上昇し、かなり逼迫した状況になっています。



空港再開／直行便

空港

オープン

日本との国際便（直行便は元々なし）

- カタル航空はカラチ・ドーハ・成田、週7便。
- エミレーツ航空はカラチ・ドバイ・成田、週5便。
- 両社ともパキスタンからの搭乗時に両社の指定検査機関からのPCR陰性証明が必要。
- タイ航空は21年3月31日まで運行中止。



日本・海外からの入国制限

日本人の入国

可

外務省感染症危険情報

レベル3：渡航は止めてください。

制限措置・入境後の隔離措置等の概要

当局は9月24日、国際旅客の入国にかかるSOPを発表（12月31日まで有効）。全ての国際線乗客は、パキスタンへの旅行を始める96時間以内に受けたPCR検査陰性証明書が必要。ただし、日本を含むカテゴリーAの国から来る乗客はPCR検査は免除（11月30日時点有効）。国家保健サービス省は、国際線乗客はパキスタン到着日から10日間自己隔離することを示唆（suggest）している。



経済活動再開の状況

経済活動制限

主要規制・制限

- 連邦政府は8月6日、閉鎖・規制産業の再開許可を決定。
- 連邦政府は10月28日、コロナ感染増加を受け、10月29日から商業マーケット、飲食店等の営業を22時までに制限、また娯楽施設・公園の18時以降閉鎖を発表。
- 連邦政府は11月6日、規制を強化。それを受け、各州は具体策を発表。シンド州は、SOP順守強化、従業員の人数を必要最低限に抑え、可能な限り在宅勤務とすること、55歳以上の従業員は出社しないこと（管理監督者除く）、乗用車に乗るのは2名までなどを発表。

SOP（シンド州）

- 職場では、厳格なSOPの順守が必須。具体的には、マスクと手袋着用、他人と3フィートの間隔をとること、頻繁な手洗い、ハンドサニタイザーの使用、風通し確保など。

現地産業・企業の動き

- 20年8月の大規模製造業指数は、前月比1.2%ポイント増（前年同月比6.1%ポイント減）となった。7～9月期の自動車販売は前年同期比2.7%増（生産は同23.8%減）であったが、9月の販売、生産はそれぞれ前月比19.9%増、68.8%増となった。（財務省資料）
- 20年9月の乗用車販売は、13,882台で前年同月比18%増。トヨタが同106%増、ホンダ同87%増、スズキ同△20%。ホンダ二輪の第1四半期（7～9月）販売は、前年同期比22%増。（各紙）

その他

連邦・州政府は11月23日、全国の教育機関を11月26日から12月24日まで閉鎖し、家庭学習にすることを決定。冬休み（12月25日～1月10日）後、1月11日の再開を見込む。



現地日系企業の活動状況

現地日系企業の状況・課題

操業状況

- ・在パキスタン日系企業は79社（支店、駐在員事務所等全含む。ジェトロ調べ）。
- ・うち、カラチ、ラホール、イスラマバードの日本商工会会員企業数は計41。シンド州カラチ24社、パンジャブ州ラホール6社、イスラマバード11社となっている。
- ・工場をもつ主な製造企業は、四輪（スズキ、トヨタ、ホンダ、日野、ヒュンダイ＝双日）と二輪メーカー（ホンダ、ヤマハ、スズキ）。その他、MIDP（コイル）、GSユアサ（バッテリー）、サンデン（カーエアコン）、YKK、森永等。
- ・四輪、二輪メーカーは5月中下旬から操業再開の準備を開始、6月から生産能力を絞って再開。
- ・ヒュンダイ・ニシャット・モーター（双日）は8月12日、2車種目のCKD車でSUVの「タクソン」（2,000 CC、4気筒ガソリンエンジン）の発売を発表した。
- ・トヨタは10月1日、生産を1直から2直に拡大すると発表。

サプライチェーン、物流への影響

- ・通関を含めた国内物流は、ほぼ通常通り。
- ・パキスタン発海上運賃は値上がり傾向で、欧米向けレーンの予約が困難になってきている。年末に近づいてきているのと航空便からのシフトも一因。
- ・航空便は就航している便数減により発着共に値上がりしている。
- ・日本発パキスタン向け国際郵便はいまだストップしており、個人向けの貨物や食料品の輸送に支障あり。
- ・タイ航空は、今のところ来年1月3日再開見込み。

(11月18日日本通運への聞き取り)

現在抱える課題、懸念など

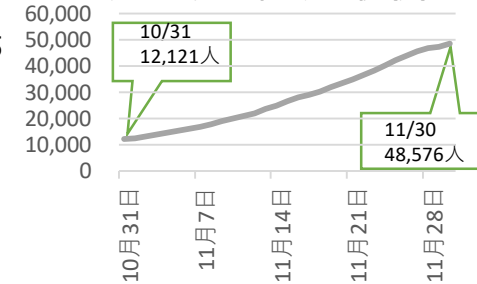
- ・在ラホールのホンダ（四輪・二輪）、サンデンは、駐在員が8月に帰還。
- ・カラチ日本商工会の調査（11月6日実施）によると、11月に帰還を予定する企業が4社あり。
- ・11月30日現在、カラチ日本商工会会員企業24社のうち、日本人駐在員がカラチにいるのは、スズキ、トヨタ、ヤマハ、豊田通商、藤原、ホンダ、双日、丸紅、味の素、日野自動車、トヨタ紡織、伊藤忠丸紅鉄鋼、ホンダトレーディング、飛鳥建設、三菱商事の15社。



注目のトピック

- ・現在感染者数は、9月10日に5,540人と最低となったが、9月15日学校再開後増加、11月30日時点で48,576人と増加中。
- ・3都市の日本人が利用しやすい病院にベッド占有率を聞き取り等した結果は以下のとおり。先週よりベッド占有率は上昇した。

過去1か月の現在感染者数の推移（人）



	病院名	ベッド数	入院費（1日、ルピー）	ベッド占有率（込み具合）
カラチ	アガカーン大学病院（私）	56	5～7万	「ベッド占有率は80%」
	サウスシティ病院（私）	23	10万	「同80%」
	ジアウディン病院（私）	20	7～8万	「同70%」
イスラマバード	SHIFA国際病院（私）	-	5～10万	「同80%」
	PIMS病院（3セク）	100	無料	「同80%」
ラホール	マヨ病院（公）	371	無料	「同40%」

(11月30日ジェトロカラチ調べ)



ジェトロからのお知らせ

アジアにおける新型コロナウイルス対応状況

ジェトロウェブサイトにて新型コロナウイルス関連ニュース、動画によるワンポイント解説、アジア各国の企業などに対する支援策を紹介。

<https://www.jetro.go.jp/world/covid-19/asia/>

新型コロナウイルスに関するお問い合わせ

（国内）
新型コロナウイルス相談窓口

TEL :03-3582-5651
(平日9時～12時/13時～17時（土日、祝祭日を除く）)

（海外）
最寄りのジェトロ事務所まで
お問い合わせください